

一般社団法人 堺高石青年会議所 2026年度 総務広報室	
ベースキャンプ・総務委員会	
委員長 猪股 達矢	
設置背景	変化の激しい社会情勢の中で、組織は品格や透明性を持つ運営体制が不可欠であり、70周年を終え新たな歴史の一歩を踏み出した我々も例外ではなく、青年経済人として品格ある組織運営が求められています。堺高石JCは、これまで諸先輩方が築き上げてきた歴史と伝統を次世代へと紡ぎ、時代の変化に即した組織運営へと進化させていく必要があります。
設置目的	■規律と公正を基盤とし、時代の変化に対応できる健全な組織運営を確立することを目的とします。 理事会にてメンバー同士の信頼のもと、個々の発想を規律をもって公正に議論できる環境を構築することで、継続性のある組織運営を実現します。
活動概要	①第1回通常総会の実施（2月） ②JCカップ堺高石大会の実施（4月例会） ③第2回通常総会の実施（5月例会） ④泉州地域青年会議所合同例会の支援（6月） ⑤JCカップ全国大会の支援（9月） ⑥第3回通常総会及び報告事業の実施（11月例会） ⑦理事会議の設営 ⑧年間を通じた会員拡大運動の実施
K G I	①参加者の100%が各議案について内容を理解した状態 ②参加者の100%がグッドルーザーの精神について理解を深めた状態 ③選考委員選挙に参加したメンバーの100%が2027年度における組織構成へ関心を持った状態 ④参加者の100%が泉州地域の一体感と次年度以降への気運が高まった状態 ⑤参加者の100%が大会における目標を理解し促進した状態 ⑥参加者の100%が今年度の活動を理解し、次年度以降への活動意欲の糧となった状態 ⑦理事会議の設営を100%円滑に行えた状態 ⑧メンバーの100%が拡大活動の重要性を理解した状態
政策手法	①組織としての方向性を明確にする総会を開催するために、データによる資料配布を行い、事前に参加者に総会時の資料確認を促すことで、参加者全員の当事者意識を醸成します。 ②グッドルーザーの精神を理解してもらうために、子供たちがサッカーというスポーツを通じて理解度を深めることで、子供たちの他人を思いやる心を醸成します。 ③堺高石JCの総意を担う選考委員を選出するために、候補者が持つ2027年度のビジョンを投票者が理解できるPRを行い、メンバーの意思を反映させた健全な組織運営を実現します。 ④JCが泉州地域の発展に寄与するために、各LOM間の連携を強化し信頼関係が深まる交流を促すことで、次年度以降もより強固な組織へと向上します。 ⑤全国大会支援での経験を共有の財産とするために、参加メンバーが得た経験を各々の扱いに反映させることで、堺高石JCの事業が次代を担う人財育成への波及効果を生みます。 ⑥当年度の活動が次年度の事業構築の糧になる報告事業とするために、各事業のポイントが伝わりやすいフォーマットにて共有することで、堺高石JCがより活力あふれる組織となります。 ⑦議事のスムーズな進行と、活発な意見交換ができる会議を進行するために、迅速かつ正確な設営をすることで、有意義で活発な議論が行われる理事会を確立します。 ⑧組織を次世代へ継承するために、共に創る拡大活動を全体で行うことで、新入会員と入会が浅いメンバーの参画意識と挑戦意欲の向上を醸成します。
パートナー	①なし ②堺市スポーツ施設課・J-GREEN堺 ③なし ④泉州地域各地青年会議所 ⑤日本JC 地域グループ スポーツ推進委員会 ⑥なし ⑦なし ⑧堺高石JCシニア・クラブ